

ごみゼロ新聞

発行／津山市ごみゼロ新聞編集委員会

TEL/0868-22-8255

古紙リサイクル講座「紙はごみじゃない!!!」 ～リサイクル推進委員研修会にて～

各地域のリサイクル推進委員さんを対象にした研修会で、明和製紙原料株の ころく のぶかず 小六 信和 社長に実演を交えた古紙リサイクルのお話をさせていただきました。



(中央右が講師の小六氏)

写真は不要になった紙を水に溶かして再生ハガキを作る実演の様子。
古紙リサイクルの原理の説明に 皆さん大変興味深く聞き入っていました。

小学校や各地域に出向いて講演をしてくださるとのことで、町内などで古紙リサイクルの勉強のため、早速依頼をされたところもあります♪

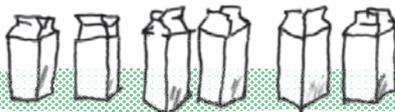


ポイント

I. なぜ、同じ「紙」なのに分別する必要があるのか。

紙の原料になる木は広葉樹と針葉樹があり、硬さなど性質が違う紙になります。また、紙製品の種類によって再生する行程も異なり、再生後の用途も違うため分別が必要なのです。

II. 紙パック (牛乳パックなど)



なんと!! 1Lサイズの牛乳パック6枚をリサイクルすることで、



トイレットペーパーが1ロールできます。

でも、洗って乾かすのが面倒なためか、可燃ごみで捨てられる割合が高いそうです。



III. 雑がみ (お菓子の紙箱やティッシュの箱など)



雑がみは、お菓子の紙箱やトイレットペーパーの芯などに生まれ変わります。

でも、小さなものを集めるのが面倒臭いためか、可燃ごみで捨てられる割合が高いそうです。